



# Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2017-2018年度 鯖江ロータリークラブ

2017-18年度 国際ロータリーテーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

2017-18年度 第2650地区スローガン

## 愛着と誇り



鯖江ロータリークラブ会長方針  
できることから始めてみましょう  
「クラブの改革」と「人道奉仕」  
会長 大島 恒彦

第2841回  
3/23(金)

3月第4例会

点鐘: 12:30

テーマ 「シェアリングエコノミーの河和田での実践事例」  
鯖江市地域おこし協力隊  
慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究所リサーチャー  
卓話 **木戸 健 様**

第2842回  
4/6(金)

4月第1例会

点鐘: 12:30

鯖江こころの電話  
卓話 **山本ゆきよ様・勝木美津子様**

第2843回  
4/13(金)

4月第2例会

点鐘: 12:30

concerto(株)  
卓話 **山本 晴香 様**

3/23(金)

### 第2841回 例会報告

四つのテスト

出席率65.1%

鯖江商工会議所3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘  
四 つ の テ ス ト  
ロ ー タ リ ー ソ ン グ  
僕 の RC、私 の RC、みんなの RC  
会 長 の 時 間  
幹 事 報 告 等  
閉 会 点 鐘

会長挨拶



酒井 芳則 副会長

会長・幹事はバりに鯖江のメガネを子ども達にプレゼントしに行っています。当初500個を予定していたがね枠が、梅田さん始め、眼鏡業会のお蔭様で、1000個も集まりました。レンズは500用意できたので、残りの分は今後の課題とします。

会長エレクト研修セミナーに行ってきました。2018-19年度国際ロータリー会長「バリー・ラシン」のテーマは、「インスピレーションになるう」です。あわせて、新ビジョン声明が発表されました。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして、自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

全世界でRCはかつてないほど重要な存在となっており、より良い世界を築くその潜在能力は莫大です。残念なことに、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているかを十分理解している人は多くありません。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータリー会員であることの恩恵を十分に享受していません。ポール・ハリスが述べたように「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。ロータリーは可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。という事でした。

第2650地区2018-19年度 ガバナー 中川 基成氏は、バリー・ラシンRI会長テーマを受けて、「ロータリーを学び、実践し、発信しよう; Enjoy Rotary」を地区スローガンに掲げました。皆様には、歴史に裏打ちされた世界に広がるロータリーの価値や素晴らしさを正しく理解して、社会や世界に対して新

しい息吹を吹き込み、ロータリーをともに楽しんでいただきたい。

地区運営として次の3つの観点から、世界に良い変化をもたらすために皆様とともにロータリーの価値を共有し奉仕する人々の輪が広がり、それぞれのクラブが柔軟に個性を発揮して活性化し一層活躍されるようお手伝いをしていきたいと思います。

#### 1. 学び

人は何歳になっても、様々な人との出会いがあり、気づきや学びがあり人生を豊かにすることが出来ます。

#### 2. 実践

超我の奉仕を実践することで、自らのそして周りの人々の人生を豊かにすることが出来るのです。

#### 3. 発信

地域や諸団体との共同奉仕事業を行うことは、ロータリーの奉仕活動を多くの人々に発信する貴重な機会となるでしょう。今日、情報技術の飛躍的な進歩により、WEBを通じた情報発信も極めて容易になりました。世界を変える行動人キャンペーンに各クラブの独自性を発揮して取り組みましょう。

以上の内容でした。

幹事報告



帰山 明朗 前幹事

来週30日は、第5金曜日となりますので、例会はお休みです。

姉妹ロータリーの村上クラブに、合併の報告を

兼ねた訪問を5月24・25日に行います。昨年、新潟の村上クラブから3名の方が訪問していただきました。4月13日締め切りで皆さんに募集を行っております。村上RCとの交流を深める絶好の機会と思っておりますので、皆さんふるってご参加ください。

ロータリーソング



「我らの生業」

瀧谷えみ子ソングリーダー

僕のRC、私のRC、みんなのRC



岩尾 顕治 会員

私はH2年に馬場氏と梅田氏の紹介で入会しました。良かったことは、ゴルフを始めて、健康に良い趣味ができた事と、

ロータリーの理念を学んだことです。欲なことを言わず、地域や同業者に奉仕・親睦(特に大切)を深める事です。私は立派な先輩方からのご指導・ご鞭撻等いただき、一人前の職業人になることを学びました。これからも精進してまいります。

鯖江市地域おこし協力隊  
慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究所リサーチャー

卓話

# 木戸 健 様

## テーマ 「シェアリングエコノミーの河和田での実践事例」



### シェアリングシティさばえ～共助なまちづくりを目指して～

今後、人口減少・高齢化社会が進み、これまで市民協働で取り組んできた事業も、高度化・複雑化していく中で、これらすべてを公共サービスで解決するのではなく、今の事業を生かしながら、時代に合った新しいものへと進化させていくために、市民・企業・行政が協力し合い、共助していくことで、持続可能な地域社会を目指していくことが必要です。

シェアリングシティは、鯖江市が実施している様々な事業を市民と共有しながら、新たにシェアリングエコノミーのサービス(民間)の力を加えることで、大きくパワーアップさせ、「公助」から「共助」で地域課題、行政課題を解決する取組みのことで



### シェアリングエコノミーとは

「シェア」とは分けるという意味です。人口減少、高齢化社会の中で、誰も住まなくなった空き家、使わなくなった空き部屋、空き地、自動車があります。工房見学、伝統工芸の体験、田舎暮らし体験などの隠れた地域資源があります。眼鏡、繊維、漆器の「ものづくりのまち」であり、「市民協働のまち」という市民のスキルもあります。これらを、インターネットを活用し提供(シェア)することで、多くの方に利用していただき、新しい流通として人やお金の流れを作り、地域活性化を図ろうというものです。

### 鯖江市の取り組み

シェアリングシティに認定されました! 自治体が抱える課題をシェアリングエコノミーにより解決し、共助なまちづくりを目指していく自治体として、平成29年11月8日、鯖江市は千葉市など14市とともに「シェアリングシティ」に認定されました。

### シェアリングエコノミー活用で鯖江市の観光推進

シェアリングエコノミー(シェアエコ、共有型経済)を活用して鯖江市の観光推進を図ろうと、慶応大学大学院メディアデザイン研究科(KMD)は21、22の両日、農村の暮らしを体験する「農泊」の体制整備調査に取り組みました。宿泊先などシェアエコの仲介サイトで提供されているサービスを極力利用し、外国人ら5人で1泊2日の鯖江旅行をしたもので、検証結果を今後の展開に役立てます。



インターネット上の仲介サイトを通して個人でも気軽にサービスを提供できるシェアエコは地域資源の活用にも役立ちつつも、地元で直接的な経済効果をもたらすものと期待されており、国内外で利用が広がっています。今回の調査は農泊推進に取り組む鯖江市のNPO法人かわだ夢グリーンの委託を受け企画しました。インバウンド対応も視野に、シェアエコ型観光

を地域に息づかせる実証実験の位置づけとなりました。

旅行者はインドネシアとカナダからのKMDの留学生を入れた5人で、仲介サイトを使って自ら利用手続きを行ないました。宿泊は民泊仲介サイト「Airbnb(エアビーアンドビー)」に登録されている河和田町の「椀(わん)de縁」を予約しました。移動は車のシェア仲介サイト「Anyca(エニカ)」で手配しました。さらに各地域の暮らし体験を仲介するサイト「TABC A(タビカ)」を通し、古民家の囲炉裏(いろり)でし鍋作りや茶道を楽しむ企画を行程に組み込みました。

初日の21日は、TABC Aに登録されている河和田町のカフェ「こま膳」で餅つきを体験。これまで旅行先は都市部が多かったというインドネシア人のアンディ・アクバルさん(28)は「仲介サイトは初めて使ったが手続きは簡単だった。日本の田舎でどんなことができるのか情報も充実していて、今までにない経験をすることができた」と笑顔を見せていました。

KMDは旅行者の感想から課題を洗い出し、シェアエコ型観光を地域に根付かせる材料にする方針で、KMDリサーチャーの私は「シェアエコは地域の魅力を伝える、これまでにないコンテンツの掘り起こしにつながる。また利用する旅行者は地元交流を楽しみたい傾向があり、新たな客層を見込めるので今回得られた知見を生かしていきたい」と思いました。

### 越前漆器協同組合「越前漆」開発 鯖江市やKMDと協力

越前漆器協同組合青年部が、鯖江市や慶応大学大学院メディアデザイン研究科(KMD)と協力して新ブランド「越前漆」を開発しました。訪日外国人をターゲットに、シンプルだがぬくもりのあるデザインに仕上げました。専用のピクトグラム(絵文字)も作り、漆器の性質や使用上の注意点も分かるようにしました。8日から東京・浅草で1カ月間限定で販売し、好評を得れば組合はブランドを維持する方針です。

漆器組合と鯖江市、KMDの3者は、2015年から連携し、越前漆器の販路拡大や漆の多用途化に取り組んできました。市によると、漆製品の市場規模は年々小さくなり、1991年に約150億円あった同組合の年間出荷額は現在、約80億円とほぼ半減です。そうした中で、日本の伝統文化や高品質な漆器に関心の高い訪日外国人に着目しました。

「越前漆」では、おわんや箸に加え、外国人になじみのあるタンブラーやまな板も開発しました。私は「越前打刃物は外国人に人気があり、まな板も併せて注目されるはず」と確信しています。

一方、ピクトグラムは、漆器の素地と塗装の種類、食洗機・電子レンジの使用の可否を表示し、値札などに印字しました。売り場にはピクトグラムの説明プレートも置きました。組合青年部会長で、吉田屋漆器社長の吉田俊之さん(42)は「本漆の製品は化学塗料と全く手触りが違う。越前漆とピクトグラムで、漆製品の裾野を広げたい」と抱負を語られました。



## 委員会報告



### 田村 康夫 ロータリー財団委員長

本日の財団寄付者は次の通りです。

- 川上 勝義 会員
- 瀧谷 えみ子 会員
- 佐野 直美 会員
- 田村 康夫 会員

今後ともよろしくお願いいたします。

### 佐野 直美 親睦委員長

親睦委員会で皆様との楽しいお出かけを企画しております。

5月20日(日)に勝山スキージャムに於いて皆様でバーベキューを楽しんでいただこうと計画しております。来月は出欠を取りたいと思いますので、どうぞ5月20日(第3日曜日)の日中を空けておいてください。たくさんのご出席をお待ちしております。どうぞお願いします。



## ここにBOX報告

- 酒井 芳則 会員 卓話を楽しみに 木戸様ようこそ
- 帰山 明朗 会員 "
- 馬場 一彦 会員 今年初めての出席です。よろしく申し上げます。
- 幸道 森市 会員 早退します
- 野中 敏昭 会員 "

小計 ¥ 9,000  
累計 ¥ 1,049,000

### ニコニコ箱発表

孝久 治宏 ニコニコ委員長

